

第 58 回町村議会議長全国大会 安倍晋三内閣総理大臣メッセージ

第 58 回町村議会議長全国大会の開催に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

町村議会議長の皆様には、日ごろから地方自治の基盤である町村において、地域住民の代表として、地域社会の発展のため、日夜、御尽力されていることに、心から敬意を表します。

本年は、大雪からはじまり、台風や豪雨、御嶽山の噴火など、甚大な被害や国民生活に大きな影響をもたらした災害が、全国各地で発生しました。安倍内閣としては、地方公共団体の皆様のご協力を得ながら、災害からの復興を進めるとともに、国民の生命と財産を守るため、防災対策を不断に見直し、その改善に努めてまいりたいと思います。

安倍内閣の最重要課題である元気で豊かな「地方の創生」については、12月に長期ビジョン、総合戦略をとりまとめることとしております。

「知恵は現場にあり」。

現在、施策の具体化に向け、石破大臣をはじめとして、創意工夫を凝らして成果を上げている自治体や、困難な状況を打開しようと努力している現場に足を運び、地方の声に徹底して耳を傾けるようにしております。

これまでの国主導のやり方でなく、地域の発想や創意工夫を生かし、個性と魅力あふれる取り組みを、国がしっかり後押ししてまいります。その際、各省の縦割りを排し、ワンストップで支援する、地域にとって真に使い勝手が良い仕組みを構築してまいります。

また、地方への権限・財源等の移譲を促進するなど、地方分権改革についても力強く着実に進めてまいります。

今年度、「提案募集方式」により、地方から多種多様な提案を数多くいただきました。現在、有識者会議の議論を踏まえ、各府省間で検討を深めているところですが、これまで困難とされてきた課題について、前向きな対応に変わってきているものも多く出てきております。

最後に、私の地元は、現在は山口県長門市ですが、以前は油谷町といいまし

た。日本海に面した棚田の美しい小さな町です。私は、このような小さな町や村こそが、我が国の美しさの原点であると考えます。各町村、地域が元気になって、初めて、我が国の未来は開かれていく、これが私の確信であります。

町村議会議長の皆様におかれましては、今後とも、常に住民の皆様と向き合い、地域の先頭に立って、遺憾なく、その力を発揮されることを御期待申し上げますとともに、国と二人三脚で、諸政策を推し進められるよう、御協力を改めてお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

平成 26 年 11 月 12 日

内閣総理大臣 安 倍 晋 三